



# news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号  
【URL】 <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

2023年6月5日

報道関係各位

## 持続可能な地域の祭りの実現を目指して 「第32回 YOSAKOI ソーラン祭り」 大通会場で回収した PET ボトルを 100%リサイクルへ

北海道コカ・コーラボトリング株式会社（本社：札幌市清田区 代表取締役社長：佐々木康行）は、回収した使用済みのPETボトルを、新たなPETボトルに生まれ変わらせる水平リサイクル「ボトルtoボトル」の取り組みを、YOSAKOIソーラン祭り実行委員会と協働で、「第32回YOSAKOIソーラン祭り」の大通会場で開始いたします。

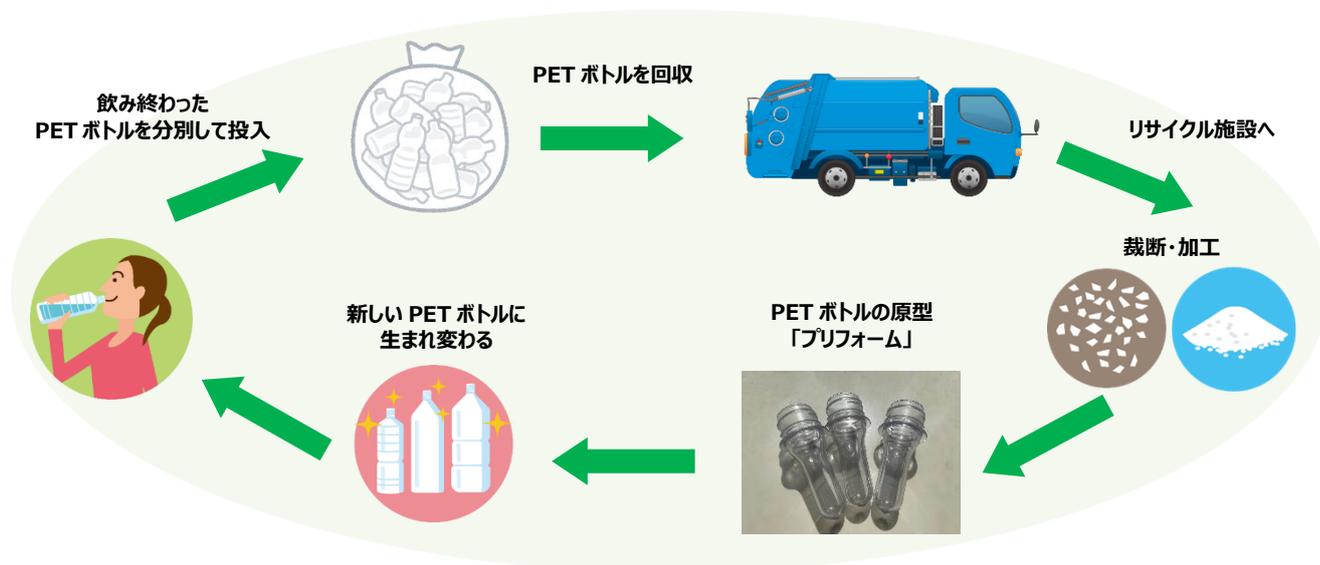
この取り組みは、持続可能な地域の祭りの実現を目指すYOSAKOIソーラン祭り初の試みで、6月7日（水）～6月11日（日）の祭り期間中、大通7丁目会場南側にPRブースを設置し、来場者の皆さまに身近なPETボトルの「分別」に対する意識向上を図りながら、会場内※で回収した全ての使用済みPETボトルを、コカ・コーラで販売する飲料用PETボトルとしてリサイクルいたします。



この水平リサイクルを推進することは、新たな石油原料の使用量削減や容器由来の廃棄物削減などの資源の循環利用につながるとともに、熱処理によるCO2排出量の削減によって、「ゼロカーボン北海道」や「環境首都・札幌」の実現にも寄与します。  
※給水スペース、大通公園西5・6丁目「北のふーどパーク」内



### ■「ボトルtoボトル」水平リサイクルの流れ



当社は、「北の大地とともに」をスローガンに、どさんこ企業として、北海道の魅力をさらに高める活動、地域課題解決への協力、次世代を担う子どもたちに将来の地球の姿を考える場の提供、安全で安心な地域づくりを応援する取り組みなど、事業活動を通して継続的に推進してまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・サステナビリティ推進部  
担当：高橋 T E L : 011-888-2091



## 〈参考資料〉

### ■ コカ・コーラシステムの取り組み

日本のコカ・コーラシステムは、グローバルビジョン「World Without Waste（廃棄物ゼロ社会）」のもと「設計」「回収」「パートナー」の3つの柱からなる活動に取り組み、容器由来の廃棄物削減と、日本国内のプラスチック資源の循環利用を推進しています。

PETボトルについては、2018年に発表した「容器の2030年ビジョン」に基づき、2030年までに国内のペットボトルを100%サステナブル素材※へ切り替えることなどを目指しています。2021年5月には「コカ・コーラ」などの旗艦製品へ100%リサイクルPETボトルを導入。現在は4ブランド44製品に100%リサイクルPETボトルを使用しており、日本国内におけるPETボトルの「ボトルtoボトル」比率は2022年第一四半期時点で50%を超えました。また、2020年より販売しているラベルレス製品も10ブランド22製品へと拡充、容器1本あたりのPET素材使用量の削減（軽量化）にも継続的に取り組んでいます。

コカ・コーラシステムは引き続き、「ボトルtoボトル」水平リサイクルの推進による100%リサイクルPETボトルのラインナップ拡大と、容器由来の廃棄物削減を通じ、プラスチック循環型社会の実現に貢献します。



※ 「ボトルtoボトル」によるリサイクルPET素材、または植物由来PET素材

### ■ 当社の水平リサイクル推進の取り組み

#### ・「環境広場ほっかいどう2023」などへブース出展

2023年4月に札幌ドームにて開催された「環境広場ほっかいどう2023」へ、水平リサイクル推進を目的としたブースを出展したほか、新千歳空港2階にて同様のブースを設置し、北海道民の方のみならず、北海道外、海外からの来道者へもリサイクルを推進することの重要性を訴求しました。



「環境広場ほっかいどう2023」の様子



新千歳空港特設ブースの様子

#### ・公益財団法人アイヌ民族文化財団と「ペットボトル資源循環の協働事業」

公益財団法人アイヌ民族文化財団が管理・運営する「ウポポイ（民族共生象徴空間）」がアイヌ文化の復興・発展及び国民理解促進の拠点であり、国内外から多くの方々が集まることが期待されていることから、来場する多様な世代に対してリサイクルに対する意識を高めるとともに、「ボトルtoボトル」の促進に向けた事業として2020年 9月より取り組んでいます。

同設に、空容器回収ボックス「リバースベンディングマシン」を設置し、「ボトルtoボトル」のリサイクルを行うほか、回収した空容器1本につき1円がアイヌ民族文化財団へ寄附され、アイヌ文化の振興に役立てられています。

